令和7年度　長森南小学校　学校評価 集計結果

※5パーセント以上増：青　減：赤

	項　目		令和7年度 児童	令和7年度 保護者	令和6年度 児童	令和6年度 保護者	令和5年度 児童	令和5年度 保護者
ゆたかに	あいさつ	あなたは、友達や家族、先生、地域の方に自分からあいさつができていますか。	85%	79%	88%	87%	89%	87%
	思いやり	あなたは、花束の言葉「ありがとう」「ごめんなさい」などの言葉が素直に言えたり、相手を思いやる行動ができたりしますか。	93%	92%	96%	92%	95%	94%
	係活動	あなたは、お手伝いや決められた仕事ができますか。	93%	82%	91%	87%	96%	85%
かしこく	聞く･話す	あなたは、友達や先生の話をよく聞いて、自分の思いや考えを伝えることができますか。	81%	77%	83%	79%	89%	80%
	学習習慣	あなたは、自分で考えて学習したり、自分から家庭学習に取り組んだりすることができますか。	76%	72%	83%	72%	73%	70%
	読書に親しむ	あなたは、たくさんの本や色々な種類の本を読もうとしていますか。	64%	44%	71%	37%	63%	38%
たくましく	基本的な生活習慣	あなたは、「早寝･早起き」「あさごはんを食べる」「歯磨き」「手洗い」など、健康に気を付けて生活していますか。	87%	88%	89%	87%	84%	85%
	食育で体づくり	あなたは、食べ物の好き嫌いせず、何でも食べていますか。	62%	72%	77%	74%	72%	67%
	進んで体力づくり	あなたは、中休みや昼休みにできるだけ体を動かす運動や外遊びをしていますか。	74%	81%	90%	82%	75%	84%
		回答人数	615	494	619	559	624	499

【評価結果より今後に向けて】

ゆたかに	○児童主体の挨拶運動やあいさつにおけるよさ見つけをする活動を通して、進んで挨拶できる児童が増えた。学校における子ども同士や先生との挨拶だけではなく、旗当番や地域の方々へ自分から挨拶ができるよう、挨拶のよさを実感できる指導を積み重ねていきたい。 ○日常の「かがやき見つけ」やひびきあい委員会を中心とした児童会活動を通して、仲間の行動の裏にある思いを考え、相手のよさを伝える活動に力を入れることで、自他を大切にし、思いやりのある行動ができる児童が増えてきた。 ○今後も、毎月３日の「いじめを見逃さない日」の取組を通して、いじめをしない、させない、許さない子にしていくために、子どもたち自身が考える機会をもち、自分自身の弱い心と向き合ったり、困った時には誰かに相談して支援を求めてもよいことを学んだりすることで、安心安全な学校生活を大人や仲間と一緒に作り上げていこうとするたくましさを育成したい。
かしこく	○「相手を大切にした聞き方・話し方」を目指し、大切なことを落とさずに、仲間の考えと比べて聞いたり、根拠や立場を明確にして筋道立てて話したりする指導に力を入れてきた。英語科の学習では、ALTやICTを有効に活用することで、仲間とのコミュニケーション活動を楽しんだり、外国の文化に慣れ親しんだりした。ペアやグループなど子ども同士が話し合いながら課題解決ができるような学習形態の工夫と学びたいと思える魅力ある課題提示ができるよう研修を重ねたい。 ○子ども自身が、家庭学習の方法を理解し、見通しをもって取り組めるよう指導する。「もっと知りたい、自分で学びたい」という意欲を引き出す手立てを考え、家庭と連携して取り組む。 ○昨年度同様、読書に親しむことができていると感じている児童の意識と読書が十分ではないと感じている保護者の意識との差があることから、家庭で読書をすることを習慣化していく必要がある。図書館や学級文庫に新刊本を増やしたり、読み聞かせをしたりするとともに、読書の時間も確保して、読書に親しむ環境をより一層整備していく。
たくましく	○給食委員会の活動や、体育、家庭科等の授業の中で、自身の体の成長のために栄養のバランスが必要であることを学んだり、作ってくれる方に感謝の気持ちをもって、嫌いであっても一口でも食べる努力ができるようにする。「元気もりもりマニュフェスト」の取組期間だけでなく、普段から「早寝・早起き・朝ごはん」を大切にすることを、今後も啓発していきたい。 ○「体づくり」では、外で元気よく遊ぶ児童と進んで体を動かすことができない児童との差がある。体育の授業前に決まった運動をドリル学習的に行うACPや、学年で「チャレンジスポーツinぎふ」の縄跳びに取り組んだり、体育委員会主催の「けいどろ対決」にも意欲的に参加する姿が多く見られた。引き続き外遊びの楽しさ、体を思いきり動かす気持ちよさを啓発し、体力向上につなげていきたい。